

平成 2 9 年 5 月 1 4 日

協 定 機 関 各 位

群 馬 県 警 察 本 部  
警 務 部 参 事 官  
(サイバーセキュリティ担当)  
(公印省略)

不審メールに関する注意喚起について（依頼）

マスコミ等の報道によれば、5月12日、マイクロソフトのOS「ウインドウズ」のぜい弱性を狙った大規模なサイバー攻撃が世界規模で発生しており、海外では病院や銀行等の多数のコンピュータシステムが停止する被害が発生しています。

次のとおり本手口について注意を喚起していただきますようお願いいたします。

記

## 1 攻撃手法等

「ランサム（身代金）ウェア」というウイルスに感染させるもので、主にメールに添付されたファイルを開く、又はメールに記載されたURLをクリックすることによってウイルスに感染すると、ネットワーク上にぜい弱性のあるWindows SMBサーバ（ファイル共有のためのサービス）があった場合、そのサーバ上でウイルスが実行され、ネットワーク上で感染が拡大し、コンピュータがロックされて使用不能となり、解除するために金銭（ビットコイン等）を要求するというものです。

## 2 不審メールに対する対策

特に、週明けは多くの方がメールを確認することと思いますが、特に、次の点について指導を御願いたします。

- 実在するメールアドレスであっても、届く予定の無い添付ファイルが送られてきた場合は、安易に開かずに、電話で相手に確認する。  
※ 実在するメールアドレスになりすましている可能性もあります。
- 身に覚えの無い添付ファイルは、絶対に開かない。
- Windows等のOSやウイルス対策ソフトを最新の状態にしておく。

## 3 システム管理者向けの対策

- SMBv1 (Server Message Block 1.0) を無効にする。
- Microsoft Windows SMBサーバ用の更新プログラムを適用する。

マイクロソフトからは、「MS17-010」としてぜい弱性に対する更新プログラムが公開されております。もしくは、「Customer Guidance for WannaCrypt attacks」（英文）でもぜい弱性に対する更新プログラムが公開されています。

- 定期的にバックアップを作成する。

本件担当	群馬県警察本部警務部警務課 サイバーセキュリティ対策係 電話 027-243-0110(代) 内線 2681~2684 塩谷 五十嵐
------	---